

Ⅲ- 11 下水道・個別排水の整備

老朽化した下水道施設の修繕や更新を計画的に実施し、施設の長寿命化を図るとともに効率的な維持管理により清潔で快適な生活環境の保全に努めます。また、農村地区では、個別排水処理施設の整備を推進し水洗化の普及向上に努めます。

【現状と課題】

供用開始以来稼働している名寄・風連両地区の下水道施設の計画的な施設更新と効率的な維持管理が必要です。また、郊外・農村地区の合併浄化槽の普及率向上に向けて、個別排水処理施設整備を継続して取り組むことが必要です。令和2年度には公営企業会計への移行と、名寄市下水道事業経営戦略の改定を行っており、人口減少に伴う使用料収入の減少に対応するため、経営の効率化と健全化を推進し、経営基盤の強化を図ることが必要です。

【後期計画期間の方向性】

令和4年度に2期目となる名寄市公共下水道ストックマネジメント計画を策定し、個別排水処理施設整備事業と連携した生活排水施設の整備を推進します。また、コスト縮減による業務の効率化を図り、令和6年度以降の適正な使用料水準について議論を進め、下水道事業経営戦略を改定します。

【主な成果指標】

指標項目	基準値	目標値	説明
ストックマネジメント計画の進捗率	0.0% (2022)	80% (2026)	管渠及び処理場施設の改築更新を行うため、2期目のストックマネジメント計画をR5からR9までの5か年計画で策定
合併浄化槽の普及率	79.4% (2021)	88% (2026)	合併浄化槽の人口普及率
経常収支比率	103.11% (2021)	104.45% (2026)	使用料収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標
経費回収率 (公共下水道事業)	123.47% (2021)	116.05% (2026)	使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標

【想定される主な実施計画事業等】

■公共下水道事業 ■個別排水処理施設整備事業 ■名寄市下水道事業経営戦略の推進

【関係する個別計画】

■名寄市公共下水道事業基本計画 ■名寄市下水道事業経営戦略
■名寄市生活排水処理基本計画